

自治会報

さがみはら

No.57

平成22年（2010）11月発行
発行部数 20万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 細谷 昇

題字 相模原市長 加山 俊夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

| | |
|---------------|------------|
| 地区自治会連合会数 | 22 |
| 自治会数 | 593 |
| 加入世帯数 | 180,211 世帯 |
| 班（組）数 | 12,138 |
| H.22. 4. 1 現在 | |

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226

昨年度に引き続き

新任自治会長研修会を開催しました!!



地域人材の育成を図るため、昨年度から新たに取り組んでいる新任自治会長研修会について、本年度は、6月の中旬から下旬にかけて、市内4会場において、新たに就任された自治会長を対象に開催しました。

研修会の実施については、市自治会連合会として2回目となりましたが、4会場・計6回の研修会に、合計186人の新任自治会長の皆さまにご参加いただき、周辺自治会の活動事例の紹介や、本年度からは新たに新任自治会長によるグループ討議を行いました。

グループ討議には地区自治会連合会会長と住民自治支援の充実強化のため各地域に配置した地域活力推進員を加え、現在自治会が抱える課題、これからの自治会をどうしていくかなどについて討議し、各グループにより討議結果を発表しました。新任自治会長だけでなく、参加者全員がたいへん有意義な研修会を実施することができたと考えています。（2面に関連記事）



つくりだそう
自治の力で
明るいまちを

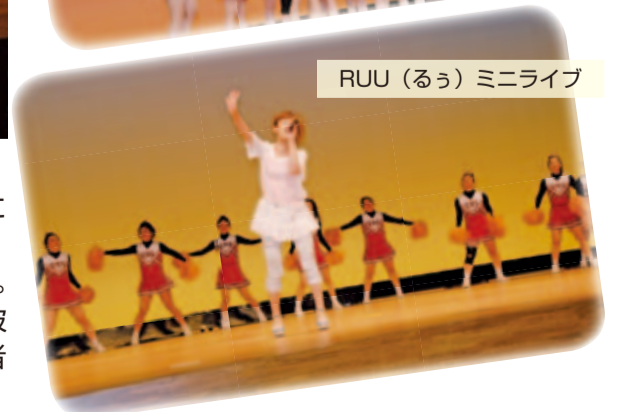
平成22年度 自治会大会が開催されました!!



東林間阿波踊り振興会



相模女子大学
チアリーディング



RUU（るぅ）ミニライブ

7月10日（土）市民会館ホールにおいて、平成22年度自治会大会を開催しました。

当日は、山口副市長をはじめ、衆・参国會議員、県・市會議員などのご来賓及び多くの自治会員の皆様にご来場いただき、盛大に行われました。

式典の部では、地域活動功労者として、個人105名、12団体及び退任理事1名に感謝状が贈呈されました。

また、アトラクションでは、東林間阿波踊り振興会3連のお子様から大人までによる、「阿波踊り」の披露や、相模女子大学グランパスによる「チアリーディング」や、RUU（るぅ）ミニライブ（大会の司会者である「鈴木るみ」さんです！）により、会場は大いに盛り上がりしました。

平成22年度 自治会大会

細谷会長あいさつ

(要旨)

皆様方には休日のご参加をいただき誠にありがとうございます。このように大勢の会員の皆様方にご参集いただき、自治会大会が盛大に開催できましたことを、厚くお礼申し上げます。

また、公私ともご多忙のところと存じますが、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。自治会活動は、防災、防犯、交通安全、環境美化、福祉、青少年の健全育成など、多岐

に渡っておりますが、地域の皆様方が、協力しあって、活動に参加していただくことにより、住みよいまちづくりができるものと考えております。一昨年は、津久井地域の自治会連合会との統合を皮切りに、本会が昭和44年6月に設立されてから、創立40周年を迎えるという大きな節目の年でありました。また、一昨年の6月には、「地域を元気にする検討会議」の提言書をまとめさせていただきました。

現在は、この提言に基づき取り組みを進めており、昨年度に引き続き、地域人材の育成を図るため、「新任自治会長研修会」を、本年6月に実施したところでございます。さて、当連合会では、「自

治は笑顔と協働から」の精神のもと、行政とのパートナーシップを深めるとともに、自治会相互の連携とコミュニティ活動を推進し、「明るく住みよいまちづくり」の推進に努めてまいります。本日は、地域発展のために永年にわたりご尽力賜りました方々に対し、本連合会として感謝の意を表すため、感謝状を贈呈させていただきました機会を設けさせていただきました。最後にありがとうございました。

最後になりましたが、自治会員の皆様方へお忙しいところご臨席を賜りましたこと、来賓の皆様のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

Table of names and titles for the 22nd Annual General Meeting, categorized by region (e.g., 小山, 清新, 横山, etc.).

Table of names and titles for award recipients (功労表彰者), categorized by region (e.g., 大沢, 藤野, 功労表彰者(団体)).



受賞者代表

新任自治会長研修会 開催報告

今年度、相模原市では、市内593の自治会のうち、292の自治会において、新たな自治会長が就任いたしました。こうした中、相模原市自治会連合会では、地域人材の育成を図るため、それぞれの地域においてリーダーとして活躍される皆さまの、これからの活動を支援するという目的で、今年度で2回目となる、「新任自治会長研修会」を開催しました。

6月19日の南区合同庁舎(午前・午後)を皮切りに、6月20日のソレイユさがみ(午前・午後)のウエルネスさがみはら(午前・午後)まで、4会場計6回の研修会に、合計186名の新任自治会長の皆さまの参加をいただきました。

研修会では、「相模原市自治会連合会発行の「自治会活動の手引き」の説明、研修会場周辺の自治会関係者による「自治会の活動事例紹介」を行い、その後、これからの自治会のあり方について、会場の新任自治会長に市自治会連合会役員・理事及び地域活動推進員も加わりグループ討議・発表を行いました。発表後の意見交換では、日ごろの自治会活動における悩みや、自治会が抱える課題など、様々な視点から活発な意見が交わされ、たいへん有意義な研修会となりました。

来年度も、新しい地域のリーダーの皆さまに対する支援の一つとして、この研修会を開催していきたいと考えています。

平成22年度定期総会が開催されました。

6月5日(土)、午後1時30分から、けやき会館で各地区から選出された委員が参加し、平成22年度定期総会が開催されました。委員総数113名、出席・委任状提出委員103名。来賓としてご出席いただいた加山市長、岸浪市議長、議長及び吉本市社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、金井委員(田名地区)及び野口委員(東林地区)を議長に選出し、各委員の熱心な討議の結果、次の議案・報告が承認・可決されました。

- 議案
①平成21年度事業結果報告
②平成21年度収支決算報告
③平成21年度監査報告
④平成22年度事業計画
⑤平成22年度収支予算

平成22年度 理事視察研修報告

本年度は、6月29日、習志野市役所を訪問しました。習志野市は、千葉県北西部に位置し人口は約16万人で、自治会加入率は74%です。習志野市の多数ある制度のなかで、自治会活動の今後の参考となる「地域政策担当の配置」と「まちづくり会議」の2つを主にご教示いただきました。習志野市では、昭和43年

に市民の市政に対する意向・要望等を的確に受けとめ、施策に反映させるための組織機構を構築するため、市職員一人ひとりと採用時に各地域の担当職員となり、退職するまで地域を変更せずに地域の活動をしています。昭和45年から、市民と行政が一体となり、地域の問題を考え、解決策を討議・実践し相互理解を深

めることを目的に、まちづくり会議の前身となる地域会議を開催しています。研修会では、長年の地域に密着した活動や経験により、課題を解決する方法等をご教授いただきました。習志野市とは地域や人口等は異なりますが、今後の地域課題となつてくる事や、まちづくり会議の趣旨は同じであり、これからの自治会活動に向けて大変参考となる研修会となりました。

自治は笑顔と協働から 平成22年度 相模原市自治会連合会役員・理事. Grid of member photos and names including 会長 細谷 昇, 副会長 田所 昌訓, etc.

本年4月1日 『相模原市 政令指定都市に移行』

相模原市とともに自治会活動のさらなる発展を!!

～政令指定都市移行後の市民協働のまちづくり～

各地域において「まちづくり会議」が
設置されました!!

『地域を支える自治会の力！
新しいまちづくりがスタートしました!!』

政令指定都市へ移行後の新たな市民協働のまちづくりを進めるため、自治会が中心となり、地域で活動している他団体と力を合わせ、自治会が抱える地域の課題を含め、解決や地域活性化に向けた活動の取り組みを話し合う場として、市内22地区でまちづくり会議が設置されました。会議の主な内容と目的は下記のとおりです。今後もまちづくり会議を含め地域社会でのかじ取り役として、行政や各種団体と協力し、安心して暮らせる地域をつくりあげるため、各地区で、頑張っていきます!!

相模原市の自治会は、日々の活動を通して、様々な公共的課題の解決に取り組むとともに、活力ある地域づくりのために努力しています。
相模原市は、本年4月に政令指定都市となり、都市の規模が拡大するなか、身近な地域で、より住みよい生活環境をつくる日常活動を進めている我々自治会の重要性が一層増してきていると考えており、相模原市自治会連合会としても新たな取り組みを始めました。

～ 連絡会 ～

相模原市で区制が施行されたことによる各区の連絡調整や課題は設置いたしません。市自治会連合会の組織として、各区内の連絡調整や課題などについて検討する組織を各区に属する理事により構成する各区「連絡会」を設置いたしました。この連絡会で話し合われたことは、理事会へ報告し、決議事項は理事会の承認を得ることになります。

～ 防災・安全部会 ～

災害の発生時にまず助けあうことができるのは、自分の家族、友人の他、隣近所しかありません。阪神淡路大震災のときのアンケートでも、震災直後に生き埋めや閉じ込められた方々の9割が、家族か近所の人に助けられたという結果があります。
こうしたまさかのときに備えるためにも、日頃からのコミュニケーションを密にし、地域防災に関する取組を充実するために防災・安全部会を設置いたしました。

まちづくり会議の内容

- 地域活動団体の情報共有
 - ◆地域で活動している団体の情報や課題を共有化
 - ◆地域の団体が協働して、課題解決に取り組む活動などの推進
- 地域活性化事業交付金事業への意見
 - ◆申請のあった地域活性化事業交付金を活用する事業に対して、地域に必要なものかなどの意見を述べる。
- 地区まちづくり懇談会の開催
 - ◆地域で話し合ったまちづくりの課題などについて、市と話し合う場の設置

人物紹介

この欄では、各界で活躍される方を紹介しています。今回は、藤野地区にお住まいの、芸術家「高橋政行」さんです。

高橋さんは、中央自動車道から見える「緑のラブレター」をはじめ、藤野の至る所で自然と調和した芸術作品を作成し「芸術のまち」としての先駆者と言われています。



高橋さん

ですが、世代間の繋がりや独自性を持ちつつどのように融合をしていくのかを念頭に活動することが、充実した自治会活動につながるのではないかと考えております。

どのような活動をしていますか？

芸術家として金属造形から創作活動を始めただけでなく、徐々に範囲が広がって、最近の仕事ですと、藤野駅の観光案内所などは、地元古民家の解体材、古材を用いたデザイン、内部、外部看板、シンボルモニューメントの制作等、全般に係わらせて頂きました。

現在の活動を要約すれば、依頼主がなにを欲しているのか、それに応える創作活動と言ったものが、一番近いと思います。

藤野にはずっと住まれているんですか？

私は、昭和25年の生まれで、生まれも育ちも横浜です。昭和52年に相模大野に、昭和55年には、現在の住まいである藤野に越してきました。

当時住んだ古民家は、とても寒く、外から来た人で冬を越えて住み続けた人は、いなかったと地元の人が言われたのを今でも覚えています。

自治会活動はされていますか？

自治会では、理事をやらせていただいております。主に環境部会を担当しています。環境部会の活動につきましても、地域はもちろん、私自身にとっても大切なものと考えております。



緑のラブレター

活動をしていた、最も大変だったことは何ですか？

長期間に亘る集中力が必要なもので、どの活動も同じように大変です。私の仕事は、納期が流動的なのはもちろんのことですが、どれも依頼主と深くコミュニケーションをとり、相手の事

推薦者の声

高橋さんとの出会いは、先にまず出会ったのは、自然に溶け込み作成された作品との出会いでした。自然豊かな藤野と見事に融合された作品の数々は、圧巻の一言に尽きます。その後、高橋さんとお話をさせていただく機会がございましたが、数々の作品に、高橋さんの柔らかな人物像が、よく出ています。

現在藤野では、日々生活を送っていると、高橋さんの作品以外にも数多くの芸術作品に触れ合うことができるのは、高橋さんが、先駆者として活動をした努力の賜物であると感しております。さらなる活動を期待しております。

若き日の思い出を語る集い

大野中地区
自治会法人 西一自治会
会長 矢沢 静雄

私たちの自治会は、昭和40年前後を境に首都圏のベッドタウンとして急激に開発が進み、肥大化した旧大沼自治会が昭和46年度をもって発展的に解散分散し、それによって47年度に新しく誕生した自治会です。

現在自治会員数(西大沼一丁目全域)750世帯弱、ご多分にもれず会員の高齢化は避けることができません。年々対象者は増加の一途をたどり、事業費も膨らむ一方ではありますが、こんなときだけに此の行事だけは何とせよと止めざるを得ない状況に陥っています。自治会主催の敬老会です。



若き日の思い出を語る集い

平成22年 上溝夏祭り

上溝地区自治会連合会
会長 長谷川光義

高齢化の進行により当初より年齢枠が多少変更されてはおりますが、70歳以上の皆様への祝い品配付と、75歳以上の希望者を自治会館へお招きしてのお食事会と、演芸の一日をお楽しみいただいております。

相模原の夏の風物詩、上溝夏祭りが7月24日、25日に開催されました。今年は、政令指定都市移行記念ということもあり、過去最高の38万人の人出となるなど、大変な盛り上がりとなりました。



上溝夏祭り

祭りでは、上溝各地区の神輿21基が商店街通りを練り歩き、神輿を上下左右に大きく振る「みこしもみ」が披露されるとともに、各地区の8基の山車で「おかめ」「ひよっこ」「踊りのおもしろおかしい姿は、祭りの人気者となっていました。

祭りの歴史は古く、最も古い神輿は文化6年(1809年)製の記録があります。

かつては「天王様」と呼ばれていましたが、今では「上溝夏祭り」として親しまれ、伝統ある祭りとして「かながわのまつり50選」にも選ばれております。

新たな「地域力」の向上のために

藤野地区自治会連合会
会長 山崎 光正

藤野地区は、相模原市の最北西端であり、北部には陣馬山などの観光名所の山が、南部には石砂山などの住民に親しまれた山があり、中央部には母なる相模川が流れる、自然豊かな森と湖の地域です。

中央部に国道20号線や中央自動車道路、JR中央本線が東西に走り、JRと高速道路は都心まで1時間圏に満たない利便さがあります。

戦時中には、東京や横浜から近く、山間地であることから、戦火を避けて児童を含む疎開者が多く、その中に有名な芸術家が数多くいました。このような歴史的経緯から、芸術文化の盛んな「芸術のまち」として知られています。

に終わることができ、実行委員は皆、ほっとして充電期間を過ごしています。

また会では、春には「草団子野草王」から「夏は、うめん流し」秋には「いも煮」を主催し地域に開放し、地元根ざした環境美化・自然保護の活動を続けています。

また会では、春には「草団子野草王」から「夏は、うめん流し」秋には「いも煮」を主催し地域に開放し、地元根ざした環境美化・自然保護の活動を続けています。

また会では、春には「草団子野草王」から「夏は、うめん流し」秋には「いも煮」を主催し地域に開放し、地元根ざした環境美化・自然保護の活動を続けています。

むかし昔 No.45

横山地区

自治会連合会会長
小林 茂裕

照手姫伝説

照手姫は、江戸時代に歌舞伎などで広く知られた「小栗判官物」の主人公です。市域では横山段丘崖を中心に、照手姫と小栗判官にまつわる伝承が残されています。姥沢地区は照手姫誕生の伝承を現代に伝える地です。



姥沢のほかに、横山地区においては、照手姫を祭る神社として知られている榎神社があります。



照手姫遺跡の碑

昔から姫ゆかりの「逆さ榎」の大木があったといわれています。現存する榎は二代目で、樹齢は百年以上の大木であり昭和56年には相模原市の保存樹に指定されました。今のご神木も見事な大樹ですが、実は初代の榎はもっと名木だったそうです。その昔、照

手姫が手に持っていた杖を地面に刺したところ、それが根づいてみるみる大きな榎に育ったと言われています。また不思議なことに、上へ上へと伸びるはずの枝がみな下を向



姥沢幻想の碑

いて、そのため「逆さ榎」と呼ばれ、照手姫伝説にちなむご神木として、地元の人から崇められていたそうです。皆さんも、「照手姫ロマン探訪の小路」を是非散策してみてください。

照手姫と小栗判官の物語とは...

横山のあたりに、横山将監という豪族が住んでいました。その娘である照手姫は美女の誉れ高く、敵の大將で、これもまた美男の評判の高い小栗判官と恋仲になってしまいました。悩み抜いた末に、照手姫は、実の父親を捨てて小栗のもとへと走ってしまいました。しかし、戦国の世の悲しい定め。照手姫のつらい胸中を知らながら、小栗判官の手により、横山一族は滅ぼされてしまいました。(参考：相模原民話伝説集)

地域パワーで自然回復

麻溝地区自治会連合会
大下自治会
会長 畠山 義道

大下(おおしも)自治会では、「道保川を愛する会」の活動を紹介します。この会は、改修された道保川の保全活動を目的に、自治会を中心に平成16年にアダプト活動に参加する形で結成されました。現在の会員数は60人ほど、月2回(冬場は1回)の定例活動日があって主に河川敷の清掃・除草(水辺の生き物に有用なものは採らない)・花の植栽などを行っています。



道保川を愛する会

また会では、春には「草団子野草王」から「夏は、うめん流し」秋には「いも煮」を主催し地域に開放し、地元根ざした環境美化・自然保護の活動を続けています。会員の努力の成果は着実に上がっており、夏にはホタルの舞う姿を楽しむことができるようになってきました。自治会としては、今後も、会の活動にできる限りの支援をさせていただきます。地域全体で自然環境の保全や地域の活性化に取り組みしていきたいと考えています。



でも参加できる盆踊り(ふじの音頭など)を通じ、地域の結束力を高めています。当地区連の会報でも申し上げます。

げました。笑顔で住める地域づくりを目指して、様々な活動に取り組んでいます。

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、

相模原市自治会連合会事務局
(042)753-3419
E-mail: info@sagamihara-jichin.jp

自治会報さがみはら

編集委員

- 鯉登 茂 河本 博 (橋本)
- 有泉 健一 加藤 純久 (大野南)
- 青木 利明 会田 昌弘 (横山)
- 須賀 仲男 木曾 雄吉 (上溝)
- 小林 勉 八木 球貴 (相模原)
- 小林 満 (藤野)